

市内中小企業景況調査報告

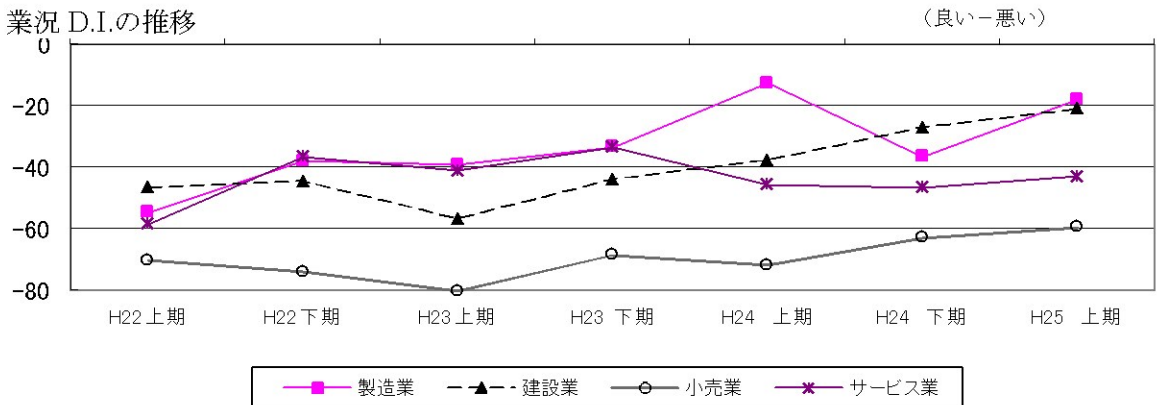
平成25年度上期（1月～6月期）

当所では、市内会員企業のご協力により年2回の市内景況調査を実施しております。
このたび、平成25年度上期の調査結果をとりまとめました。

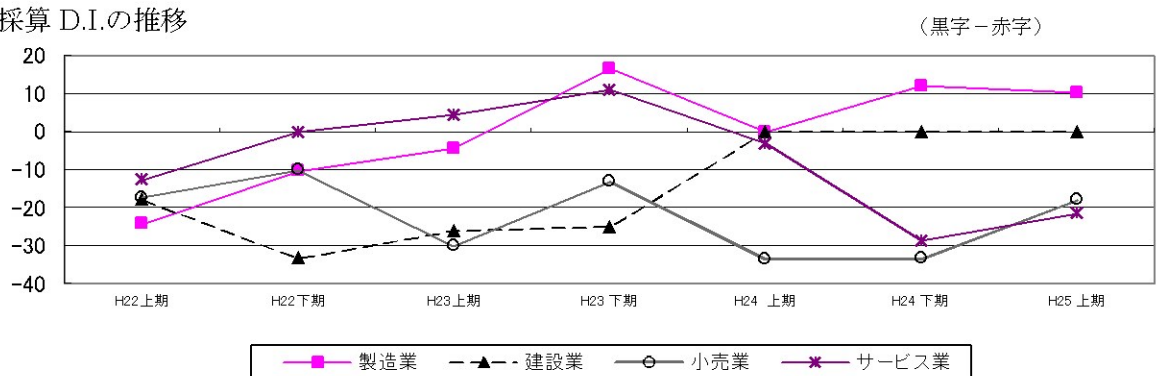
| | |
|--------|--|
| 調査方法 | FAXによるアンケート調査、一部企業は訪問し面接・聴き取り調査 |
| 調査対象数 | 当所会員139事業所（製造業、建設業、小売業、サービス業） |
| 回収率 | 78.0%（139社中109社回答） |
| 分析方法 | D.I.（Diffusion Index）分析　D.I.分析は、すべて「前年同期」との比較 |
| 分析項目 | 今期の業況・短観 |
| その他の分析 | 経営上の問題点の上位3項目をポイント加算 1位3ポイント、2位2ポイント、3位1ポイントとして集計 |

1. 今期の業況・短観【D.I.】

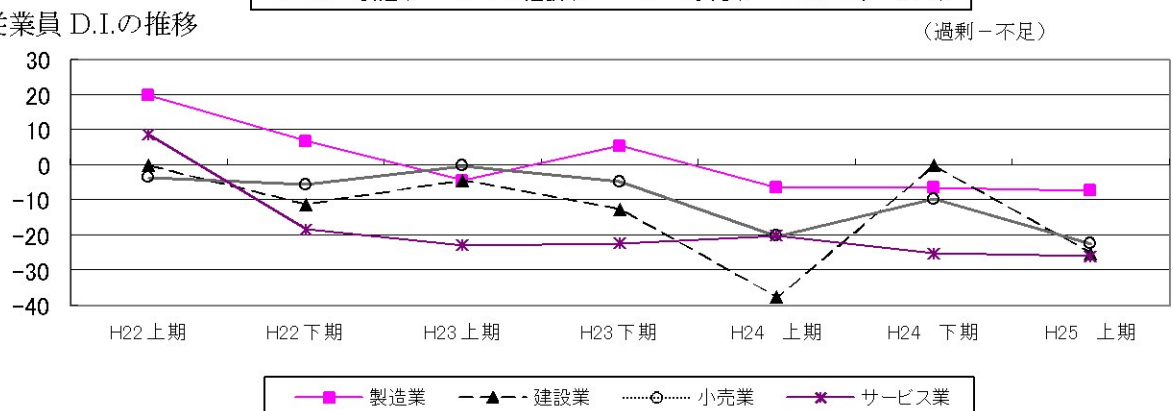
業況 D.I.の推移



採算 D.I.の推移

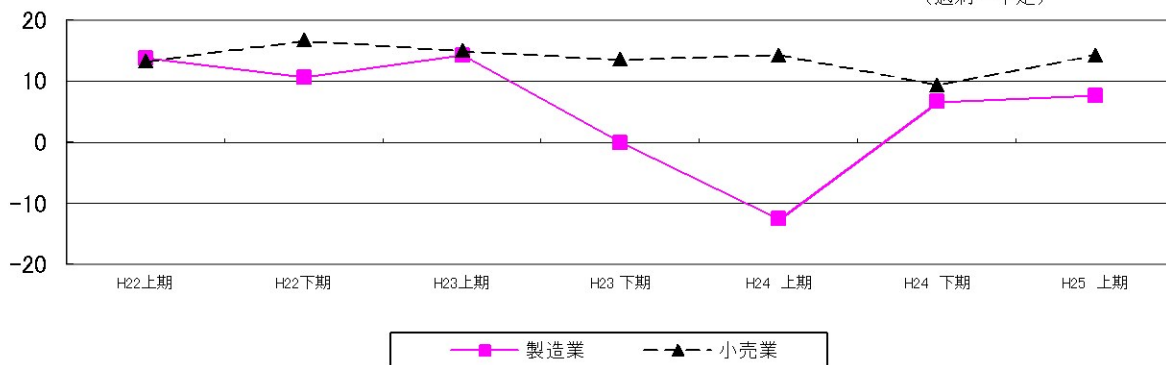


従業員 D.I.の推移



在庫 D.I.の推移

(過剰-不足)



2. 「直面している経営上の問題点」の集計表

| | 1 位 | 2 位 | 3 位 |
|-------|-------------|-----------|---------------|
| 製造業 | 売上・受注の停滞・減少 | 原材料価格の上昇 | 製品単価の低下 |
| 建設業 | 売上・受注の停滞・減少 | 熟練技術者の確保難 | 従業員の確保難 |
| 小売業 | 売上・受注の停滞・減少 | 原材料価格の上昇 | 大企業の進出による競争激化 |
| サービス業 | 売上・受注の停滞・減少 | 原材料価格の上昇 | 値下げの要請 |

3. 経営者の声 (一部抜粋)

- ・部品製造が、中国、東南アジアへシフトされているのが最大の懸念材料 (製造業)
- ・大規模ネットワークの業者がCM・チラシ (広告) など低価格をアピール、価格の二極化がよりいっそう進んだように思う (製造業)
- ・採算の基準点が上がっている。現状の採算を確保するために、諸経費を切り詰めている (製造業)
- ・機械設備が老朽化してきているが、後継者がいないため、どうしたらよいか分からない (製造業)
- ・消費税増税後が厳しいと思う (建設業)
- ・職人不足 (建設業)
- ・消費税増税予想のため、住宅関連は少し活況だが、一部の大手住宅産業が強すぎて、加工賃等に対して、値下げの競争を強いており、心配している (建設業)
- ・輸入石油製品の原価が10%~20%値上げの通告が仕入各社よりあり、商品価格の見直しや外税への表示変更などが必要 (小売業)
- ・客層の高齢化に伴い、今まで以上の接客が大事になってきている。商品の勉強だけでなく、接客中心の勉強が必要になってきている (小売業)
- ・顧客のインターネット購入率の上昇により、商品適正在庫管理が難しくなってきた (小売業)
- ・消費税増税後の受注の減少が心配 (サービス業)

総括

平成25年度上期は、景況D.Iは、全ての業種において若干の回復基調にあります。採算D.Iは、製造業、建設業とも、前期に比べやや悪化しています。反面、小売業とサービス業はやや改善傾向を示しています。しかし、全業種とも大きく利益が出ているとは言いにくい状況が伺えます。従業員D.Iは、特に建設業、小売業では慢性的な人手不足感はまだまだあります。製造業や建設業では、熟練工の不足や高齢化を問題点に挙げている企業があります。近年原材料の高騰や売上減少など採算性に関する事が上位を占めており、まだまだ厳しい状況が続くと思われます。

ご協力をいただきました企業様には厚く御礼申し上げます。